

研究計画の公表事項

研究課題名	新潟県内で検出されたパレコウイルスA3型の遺伝子解析
研究の意義・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・パレコウイルスA3型は新生児・早期乳児において敗血症や髄膜脳炎をきたし、成人においても流行性筋痛症の原因となるウイルスであるが、一般的にはまだ認知度が低く、新潟県内の患者発生状況などは不明な点が多い。 ・令和元年の新潟県の感染症発生動向調査で、夏季に県内でパレコウイルスA3型による流行性筋痛症患者が複数確認されたことから、パレコウイルスA3型の遺伝子を解析し、分子疫学的解析を行った。
実施方法	<p>(1)方法 平成12年から令和元年までの間に実施した感染症発生動向調査の病原体検査で、パレコウイルスA3型が検出された患者を抽出した。これらの患者から検出されたパレコウイルスA3型の遺伝子を詳細に解析した。</p> <p>(2)検体の採取方法、試料・情報の収集 感染症法に基づく感染症発生動向調査として、採取された既存検体・情報を利用するものであり、新たに検体は採取しない。</p>
調査・研究の対象者と研究対象期間	<ul style="list-style-type: none"> ・研究は、令和元年度に実施した。 ・対象とする検体の採取期間と採取対象者 平成12年1月から令和元年12月までに、新潟県内の小児科や内科の医療機関を受診し、感染症発生動向調査(サーベイランス)として 病原体検査のための検体を採取された方。
研究における倫理的配慮	<p>学会における発表にあたり、個人を特定できる情報は公表しない。 研究計画をホームページで公表し、オプトアウト(研究への協力を断る)の機会を設ける。</p>
個人情報の取扱い	<p>個人情報として、氏名、年齢、性別、発病日、診断名、症状、転帰、ワクチン接種歴について、主治医から検査票に記載してもらっている。医療機関や保健所に結果を返すため、氏名を記載することとしている。これらの情報は台帳管理され、そのファイルにはパスワードを付けて管理している。</p> <p>ファイルを使用するパソコンへのログインも管理されており、更にこのパソコンは、一般のインターネット回線からは切り離された環境となっており、外部へ情報が漏出しないよう、厳重に管理している。</p>
検体の取扱い	<p>検体には、検体番号を付し、番号は個人情報とともに管理されている。</p> <p>検体は、-80℃~-20℃で10年間保管し、その後不要となった場合には、容器ごと感染性廃棄物として廃棄する。</p>
研究結果の公表	<p>本研究により、新たな知見が得られたことから、第61回日本臨床ウイルス学会(令和2年10月)で研究発表する。</p>
研究対象者(検体を提供された方)の相談窓口	<p>小児科や内科の医療機関で、病原体検査のために検体を提供したことがある方(お子様の検体を提供したことがある方)で、研究のために検体や情報を使って欲しくないと思われた方、ご心配な方は、以下の連絡先にご相談ください。</p>
研究実施機関 連絡先・研究担当者	<p>新潟県保健環境科学研究所ウイルス科(新潟市西区曾和314-1) TEL025-263-9414 FAX 263-9410 E-mail:ngt043020@pref.niigata.lg.jp 新井礼子、田村務</p>